

第 19 回 大樹生命ヒーローズカップ 近畿地区大会 実施要綱

Ver.1

ヒーローズカップ近畿地区大会を開催するにあたり、試合形式、競技方法について、下記の通り定める。

本書に記載の無い事項については、第 19 回大樹生命ヒーローズカップ開催要綱、同実施規約、同安全対策規程に基づくものとする。

1. 日程

2026 年 11 月 14 日（土）

※雨天決行の予定ですが、中止の場合、午前 6:00 に各チーム責任者に連絡いたします。

2. 会場

11 月 14 日（土） たまゆら陸上競技場〈枚方市立陸上競技場〉
（大阪府枚方市中宮大池 4 丁目 10-1）

3. 参加チーム

（公財）日本ラグビーフットボール協会の近畿地区各府県協会所属スクールで、1 スクール 1 チームとする。（単独チームで人数が不足している場合のみ合同チーム可能）

4. 試合形式

（1）組み合わせについて

参加チームを A ブロックから F ブロックまでの 6 ブロックに分け、各ブロックはトーナメント形式又はリーグ戦形式で対戦する。

※参加スクール数により変更の可能性あり

（２）順位決定について

トーナメント形式の引き分けの場合は、抽選により上位の試合に進出するものとする。

リーグ戦形式は勝ちを勝ち点 3、引き分けを勝ち点 1、負けを勝ち点 0（不戦敗は－1 点）とし、勝ち点合計数の多い順に順位を決定する。

・勝ち点と同じ場合は、①総得失点差 ②総トライ数 ③抽選の順番で順位を決定する。

5．関西大会への出場権について

各ブロックの 1 位チームに関西大会への出場権利が与えられる。1 位チームが止むを得ない理由で権利を放棄した場合には、2 位チームに出場権利を付与する。

6．競技方法

前述の通り、第 19 回大樹生命ヒーローズカップ開催要綱、実施規約に基づき実施する。

① ルールは（公財）日本ラグビーフットボール協会制定の『令和 4 年改訂版 競技規則 U-12 ミニラグビー・高学年』による。

②試合の組み合わせは抽選にて行う。

③タイムキーパー制で行う。

④規定のチーム構成人数未満による試合

1 チームにつき規定の人数（9 名）より少ないプレーヤーによる試合は、試合途中において怪我や病気により出場選手が 8 名まで許可される。但し、試合開始時点では 9 名の健康な選手を揃えなければならない。人数の足りないチームが他のチームから選手を借りて試合を行う場合は、人数の足りないチームは不戦敗として、交流試合として試合を実施する。

⑤ブリーフィングについて

伝達事項は代表者会議で各チームへお伝えします。

※キャプテン会議は代表者会議と同時刻に本部前にて開催。

⑥ドレスチェックについて

第一試合前に担当レフリーが行う。

※チェック項目

- ・スパイク（取り換え式ポイント及び金属がついていないスパイク）
- ・ヘッドキャップの確認 ・WR 認定ゴーグル、着用サポーターの確認
- ・爪（爪が長い選手は切ってから再チェックを受けること） ・服装

⑦服装

寒さ対策として、長袖アンダーウェア、ロングスパッツを着用しての出場を認める。また、グローブ（指先のないもの）の着用は可とする。但し華美なロングスパッツは避け、短パン同系色または白・黒・紺とする。

マウスガードは、出来るだけ着用することが望ましい。

ヘッドキャップの後頭部のヒモが長い場合は必ず中に入れ込むこと。

⑧ゴーグルの取り扱いについて

ワールドラグビーの承認マークが付いたゴーグルであれば着用を認める。

他のスポーツ用ゴーグルを着用しての出場は一切認めません。

⑨ベンチの位置・キックオフ・陣地について

ベンチの入れ替えをスムーズに行う為、1グラウンドに対してベンチは4カ所作り、空いているベンチは次戦のチームベンチとする。

ベンチの位置は、スケジュール表に記載しています。ベンチの左右がそれぞれの前半の陣地となり、**バックストレート側のベンチ（陣地）のチームが前半キックオフ**を行う。

ベンチに入れるのは、登録された、試合責任者を含むコーチ（5名まで）、セーフティアシスタント1名（※SAは所定の位置に待機）、選手のみとする。チームカメラマン（2名まで）は腕章を着用していれば撮影禁止エリア以外の立ち入りは許可される。

試合中は、ベンチからプレーヤーへの指示は、一切禁止とする、指示があったと判断した場合は、レフリーまたは大会役員が注意する。該当者は、それに従わなければならない。

⑩セーフティアシスタント（1名）

セーフティアシスタントは、必ず有資格者が対応する。（当日資格証確認）

チームに有資格者を用意できない場合は、前日までに大会本部に申請すること。

セーフティアシスタントは、SAビブスを着用し、タッチラインの外でアシスタントレフリーの邪魔にならない位置で待機すること。選手が負傷した際には、速やかにグラウンド内に入り、必要な対応をすること。ベンチに入ることを禁止する。

セーフティアシスタントは、選手に対してプレーの指示をしてはならない。

⑪ウォーター（2名）

ウォーター係（ビブス着用）は控え選手（3名まで）が対応すること。

試合中のウォーターブレイクは前半・後半共に、試合時間の半分を目安にレフリーの判断により行う。

感染症対策の一環でスクイズボトルなどの使い回しは禁止し、選手1人あたり1つのボトルが必要です。その際、あらかじめカゴや大きなカバンを持ち込み、スムーズに給水ができる準備を行って下さい。

ウォーターは、Waterビブスを着用する。（ビブスはチームで用意すること）

⑫チームカメラマン（2名まで）

チームカメラマンは、配布する腕章を見えるところに着用しチームカメラマンであることがわかるようにする。

A面とB面の間はオフィシャルカメラマン以外の撮影は禁止とするため、チームカメラマンの立ち入り、撮影は禁止とする。

⑬試合開始

コイントスは行わない。⑨のベンチの位置によりキックオフ・陣地を決定する。

スケジュール表のスタート時刻＝キックオフの時刻とする。

キックオフの2分前には、ベンチ横のセンターライン位置（試合入場待機場所）に入場できるように待機すること。

⑭試合時間

各ブロックともに **10分ハーフ（ハーフタイム3分）または10分ストレートで実施する。**

A面、B面ともに同時にキックオフを行うので、本部席より試合開始のアナウンス、ハーフタイム、試合終了の合図を行う。原則としてロスタイムによる試合時間延長は行なわない。

タイムキーパー制を採用し、大会本部で時間管理を行うが、事情によりレフリーとタイムキーパーとの間に大きな誤差が生じた場合は、大会本部よりレフリータイムで実施する旨をレフリーに伝え、レフリーより両キャプテンに **【レフリータイムで実施する】** ことを説明の上、レフリーの判断、責任で終了する。

⑮ゴールキック

トライ後のゴールキックは、実施しない。

⑯ボール

試合に使用するボール（4号球）は、大会本部にて用意する。

⑰選手交代について

選手の交代は、交代人数を制限しない。また、一度交代した選手の再出場を認める。

プレー中の選手交代は、1度の交代を3人までとし、それ以上の場合は、2回以上に分けて交代する。

選手交代時は、競技役員に交代する選手の背番号（ない場合は、名前）を申告し、レフリーの指示に従って交替すること。

後半開始時の交代については人数制限を設けない。また、競技役員への申告も不要とする。

負傷時の交代については、レフリーの指示により交代選手を入れる。この場合は、競技役員への申告は不要。

⑱一時退出（シンビン）について

シンビンでの一時退出は、3分間とし、競技役員が計時する。

⑲負傷時の対応について

プレー中に選手が負傷した場合、レフリーは試合を中断しドクターを呼び、負傷状況を確認する。ドクターが試合続行を認めない場合は、レフリーは速やかに当該チームに選手交代を要請する。

その際、自チームのセーフティアシスタントからの助言（例、まだやれます…等）は禁止とし、決してドクターの判断に異を唱えてはならない。

頭部打撲により、一時退場をしたプレーヤーは例え脳震盪・脳震盪疑いではないとドクターより判断されたとしても、安全を第一優先とする為、当該試合で再出場は認めない。しかし、マッチドクターにより脳震盪・脳震盪疑いではないと判断された場合は、次試合以降の試合には出場できる。

7. アフターマッチファンクションの実施

本大会では、試合毎にアフターマッチファンクションを実施する。

- ・両キャプテン・両コーチからの相手チームへのリスペクト
- ・レフリーからの講評 ・エール交換

8. レフリーについて

レフリー、アシスタントレフリーは、大会本部で各協会公認レフリーを手配する。

第3ARは、競技役員が担当する。

※大会当日、他のカテゴリーの試合の重複により十分にレフリーが確保できない場合、アシスタントレフリーをチームより出していただく場合がありますので、ご了承ください。

9. 試合記録について

レフリー用のスコアカードは、大会本部により用意した所定のものを使用しトライ数を記録する。

記録役員は、公式記録票にトライ数、得点、反則数を記録する。

試合終了直後、レフリー、記録役員、両チームの担当コーチが点数を確認し、レフリーはスコアカードに必要事項を記入・署名後、記録役員に渡し、記録役員が本部席に提出。本部席役員が公式記録票にスコアカードを貼付する。

10. ベンチ、観戦のマナーについて

本大会では、試合中において、コーチ、保護者、観戦者からプレー中の選手への指示は、一切禁止とする。

各チームの試合責任者は、チーム内関係者に周知すること。

11. ウォーミングアップエリアの利用について

全てアンサーカー部分でのアップとなるため、全チームウォーミングアップは必ずアップシューズで行うこと。

次の試合のチームがトラック内の半円エリアでアップを行える。それ以外のチームは 400m トラックや空いているスペースで譲り合って使用すること。

試合直前までアップシューズを履いて、ベンチ入りした時にスパイクに履き替えます。前の試合中でも次チームのベンチは空いていますので、時間配分を考えて試合開始 2 分前までに試合入場待機場所に集まれるようにお願いします。

12. 救急車の要請について

試合中の負傷により、救急車を要請する場合は、マッチドクターから大会役員を通じて要請するので、チーム関係者は、直接要請しない。

試合中以外で救急車要請する場合、必ず、大会本部を通じて要請すること。

13. 駐車場について ※昨年度より変更【重要】

昨年度、ヒーローズカップ出場チームの車でたまゆら陸上競技場駐車場、近隣の山田池公園の駐車場が満車。そして山田池公園の前面道路が大渋滞となり、たまゆら陸上競技場へ大きなクレームが入りました。会場および枚方市と協議した結果、ヒーローズカップ出場チームの車の台数制限をすることにより、今年度も開催できることとなりました。

たまゆら陸上競技場駐車場は有料駐車場ではありますが、ヒーローズカップ出場チームの車には駐車券を発行します。（チーム 10 枚の駐車券【通し番号】を予定）※満車の場合は一般駐車場の為、駐車できません。駐車券のないチーム関係者の車に対しては、たまゆら陸上競技場駐車場が空いていたとしても駐車することができません。また、山田池公園の駐車場の有料駐車場についてもヒーローズカップ出場チームは一切使用不可と致します。

したがしまして、駐車券のない車は近隣パーキングとなりますが、その近隣パーキングもほとんどございません。乗り合いまたは、公共交通機関で会場へお越しください。

観光バス/マイクロバス（事前申請：先着順）の活用も併せてご検討ください。

たまゆら陸上競技場駐車場は競技場受付及び総合体育館受付で割引が受けられます。

なお、駐車券のないラグビー関係者のたまゆら陸上競技場駐車場への駐車が見受けられた場合、チーム名を確認後、次戦（関西大会）および次年度のヒーローズカップへのご参加をチームとして見合わせていただくことと致します。駐車場問題で次年度の会場が使用できなくなることになるのは非常に不本意ですので、厳しい対応をさせていただきますので、チーム内、チーム保護者への周知徹底を何卒、よろしくお願い致します。

京阪電車／枚方市駅または樟葉駅下車→バス

JR 学研都市線／津田駅または長尾駅下車→バス

14. 当日代表者会議について

11月14日（土）たまゆら陸上競技場での代表者会議は9時10分から開催致します。

会議出席者は本部席までにお集まりください。

9時30分から全チーム揃っての開会式となりますので、代表者会議に参加するコーチ以外で開会式整列の準備をお願いします。

10時からSA会議を開催します。SAを担当するコーチは必ず参加お願い致します。

※SAの認定証の確認を行いますのでご持参ください。

15. その他注意事項

チーム待機場所・荷物置き場はグラウンド周辺（スタンド下やテント設置可能エリア）となります。

貴重品の管理は各チームの責任でお願いします。

グラウンド内には水以外は持ち込まないようにお願いします。スポーツドリンク不可。

グラウンド内は飲食禁止。（お菓子・ガム・アメ含む）

食事をとる場合はスタンド下やテント設置可能エリアまたは、スタンドのチーム割り当て場所をお願いします。

競技場内は全面禁煙（電子タバコ、加熱タバコを含む）

ゴミ等はチームで責任をもって持ち帰ってください。

お帰りの際は、荷物置場の片付け、ゴミのチェックをした後、必ず本部席に帰ることを報告に来てからチームでまとまって退場してください。